

防災災害対策委員会

理念

湘南鎌倉総合病院の防災力・災害対応能力を高める

業務実績

原則として月2回のコアメンバー会議（第1・3金曜日）と、月1回の委員会総会（第4水曜日）を行ってきたが、2020年から始まったコロナ禍の患者数増加により委員会の開催そのものの自粛を求められ、目立った活動はほとんどできていない。そんな中でも、以下の活動を行った。

- 2021年4月20日 衛星電話訓練（県、災害拠点病院と）
- 2021年4月28日 エアーテント立ち上げ訓練
- 2021年7月22日 2020東京オリンピック・パラリンピック特別警戒態勢
- 2021年7月29日 原子力災害医療基礎研修受講（神奈川県主催）
- 2021年8月8日 2020東京オリンピック・パラリンピック特別警戒態勢解除
- 2021年8月9日 エアーテント設置
- 2021年9月1日 神奈川県立の臨時医療施設の防災対策の確認
- 2021年9月21日 エアーテント撤去
- 2021年9月29日 新生児誘拐訓練（立ち会い・講評）
- 2021年10月16日 災害対策訓練
- 2022年1月12日 エアーテント設営
衛星電話訓練（県、災害拠点病院と）
- 2022年2月18日 エアーテント撤去
災害備蓄倉庫引っ越し
- 2022年3月04日 火災訓練（救命救急センター・外傷センター棟）

また、DMAT-L 派遣の延長として、新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部の入院調整窓口・搬送調整班としても一部のスタッフが従事してきた。

展望/抱負

災害拠点病院の指定を受ける予定の当院が、いざという時にその使命を果たせるよう、日々研鑽を積んでいかなければならない。1500人以上の職員を抱える当院にどのように防災・減災の意識を植え付けられるか、また有事の際に災害対応力を発揮できるかは我々の活動にかかっており、Try and Error を繰り返しながら邁進する所存である。